

埼玉県総合リハビリテーションセンターだより

<今号の内容>

- インターンシップ生がお届け センターの業務 …1
- 埼玉県高次脳機能障害者支援センターについて…2
- 歯科診療部 業務紹介……………3
- 院内デイサービス「デイなごみ」の紹介…………4



発行： 埼玉県総合リハビリテーションセンター
〒362-8567 埼玉県上尾市西貝塚 148-1
TEL 048-781-2222 FAX 048-781-1552

インターンシップ生がお届け センターの業務



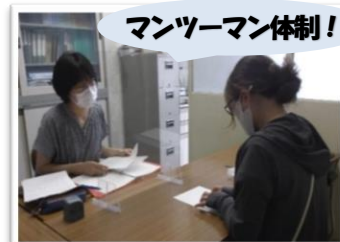
コロナ禍が明け、埼玉県では4年ぶりにインターンシップが行われました！センターにもインターンシップ生が訪れ、業務の見学や体験を行いました。今回その中から二つの業務をインターンシップ生独自の視点で紹介します。

【視覚障害訓練】

視覚障害訓練では、視覚に障害がある方を対象に日常生活に必要な知識・技術の習得のための自立訓練を行っています。今回は主に**点字訓練**や**歩行訓練**の見学を行いました。センターの訓練は、マンツーマン体制でその人に合わせた進捗で訓練を行います。歩行訓練は「**白杖**」という道具を使い、道を問題なく歩けるように練習します。白杖の操作技術だけで知らない道を歩けるようになるのではなく、周囲の手がかりを確認し頭の中で地図を描けるように練習します。

<インターンシップ生による歩行訓練士へのインタビュー>

- Q どのようなことを意識して利用者さんと接していますか？
- A 点字が嫌にならないように根気強く、利用者さんのペースに合わせてゆっくり進むように意識しています。
- できるだけ楽しく読んでもらいたいです！**



▲点字訓練の様子

【就労移行支援】

就労移行支援では、自立訓練が終わった人等を対象に就労に必要な知識・能力の向上に向けた職業準備訓練を行っています。訓練は、1コマ40分の訓練が8コマあります。就労に必要な身体的・精神的な耐性向上を目的として、一般的な勤務時間に近い形でスケジュールが組まれています。パソコンを使った事務系訓練は、**Word**、**Excel**、**PowerPoint**を学ぶことが基本になっています。これは障害者向けのハローワークの求人票でこれらを使用できるスキルが雇用要件になっていることが多いからです。

簿記等の資格を取得することもできます。作業系訓練の一つである生産訓練では、材料となる和紙から製品製作まで全てセンター内で作られた和紙製品（商品名「なごなご」）の袋詰めなどを行っています。

また、就労支援では履歴書作成支援や企業訪問、面接支援、職場実習等を支援して就職に結びつけています。



▲事務系訓練の様子



▼なごなご

埼玉県高次脳機能障害者支援センターについて

埼玉県高次脳機能障害者支援センター（以下支援センター）は、高次脳機能障害を抱えたご本人やご家族、関係機関への包括的な支援と相談体制の充実を目指し、様々な相談支援や事業展開に取り組んでいます。ここでは、主な機能についてご紹介いたします。



また、支援センターでは、地域におけるきめ細かな支援や啓発を拡充するため、2か所の医療機関（地域リハビリテーション・ケアサポートセンター）に、高次脳機能障害者やその家族、関係機関からの「電話相談」と「高次脳機能障害に関する普及啓発」などの業務を委託しています。

3か所の高次脳機能障害総合相談窓口があります

- 全県** □ 埼玉県高次脳機能障害者支援センター
(総合リハビリテーションセンター内)
住所:埼玉県上尾市西貝塚148-1
048-781-2236 (相談専用)
- 川越比企** □ 川越比企 高次脳機能障害者支援センター(霞ヶ関南病院)
住所:川越市安比奈新田283-1
049-232-1313 (代表)
- 東部** □ 東部 高次脳機能障害者支援センター(春日部厚生病院)
住所:春日部市緑町6丁目11番48号
080-8181-4148 (相談専用)

① 総合相談

総合相談の窓口では、電話や来所での相談について専門の相談員が対応しております。ご本人やご家族のみならず、地域の支援者など、関係機関からの相談もお受けしております。

② 普及啓発

病気や障害への理解の促進と、高次脳機能障害について正しく知ってもらうため、パンフレット・普及啓発動画の作成や、各種会議へ参加し、情報発信を行っています。

③ 支援機関の後方支援

ご本人やご家族が、住み慣れた地域で安心してサポートが受けられるように、地域の支援者と協働し、支援体制強化のためのバックアップをいたします。対応に苦慮するような個別ケースについては、支援センターの職員が地域に出向き、カンファレンス等へ参加することも可能です。

④ 研修事業

高次脳機能障害者支援に関わる関係者をはじめ、一般の方向けなどにも様々な研修を実施しています。

高次脳機能障害は「見えない障害」とも言われ、ご本人やご家族、支援者が障害に気づかないまま悩んでいるケースが少なくありません。障害の程度や困りごと、一人一人全く違うため、オーダーメイドの支援が必要になります。様々なご相談に対応しておりますので、高次脳機能障害に関することでお困りのことがあれば、お気軽にお電話ください。



紹介動画もどうぞ！

【埼玉県高次脳機能障害者支援センター】

歯科診療部 業務紹介

歯科診療部の特色

歯科診療部では、障害や疾患のある方々に、安心かつ満足して頂ける診療を行うため、患者さんやご家族と相談した上で、個人に適した治療内容と対応法を選択します。場合によっては、患者さんの障害に応じて身体抑制、薬剤を使用しての静脈内鎮静法、全身麻酔下での歯科治療なども実施しています。また、歯科治療による全身状態への影響を防ぐために、必要時にはモニター管理や事前の薬剤投与を行い、安全に配慮して診療を行っています。

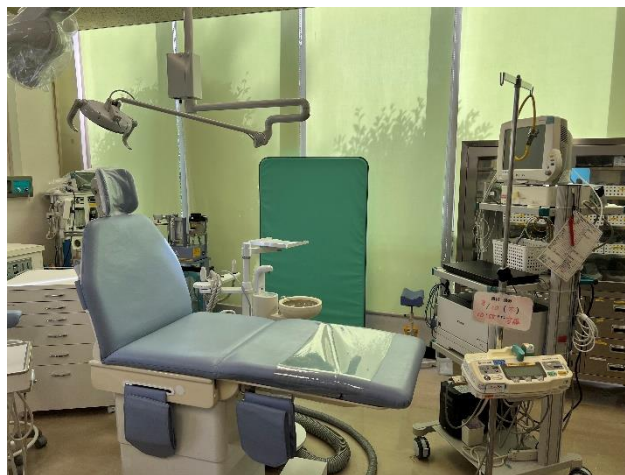
治療内容は一般歯科治療が中心ですが、虫歯の予防措置や定期的な歯科検診、口腔保健指導、摂食嚥下指導も行っています。

診療内容

地域の一般歯科診療所で対応が困難な心身に障害のある方々や有病高齢者、当センターの入院・入所者の歯科治療や口腔衛生指導を行っています。

主に次のような方々を対象にしています。

- (1) 脳卒中（脳梗塞、脳出血など）後の後遺症のある方
- (2) 脊髄障害
- (3) 全身疾患を有する方、有病高齢者
- (4) 知的能力障害
- (5) 自閉スペクトラム症
- (6) 脳性麻痺
- (7) ダウン症
- (8) 慢性関節リウマチ
- (9) 統合失調症、認知症
- (10) 歯科治療恐怖症
- (11) 当センター入院・入所者



学会認定

日本障害者歯科学会	・専門医指導医：三浦(非常勤) ・認定医：永尾、久保 ・指導歯科衛生士：水田、山地 ・認定歯科衛生士：石塚
日本歯科麻酔学会	・専門医：永尾 ・認定医：久保、三浦(非常勤) ・認定歯科衛生士：石塚
日本歯科薬物療法学会	・専門医：久保
日本摂食嚥下リハビリテーション学会	・認定士：久保(歯科医師)、石塚(歯科衛生士)、安藤(歯科衛生士)
日本歯科放射線学会	・准認定医：久保
日本化学療法学会	・抗菌化学療法認定歯科医：久保
ICD 制度協議会	・インфекションコントロールドクター(ICD)：久保
ドライマウス研究会	・認定医、口腔機能指導員：久保

*当センターは、[日本障害者歯科学会専門医研修施設](#)および[日本歯科麻酔学会準研修機関](#)に認定されています。

障害児摂食嚥下外来

知的能力障害や自閉スペクトラム症、ダウン症候群等の障害児を対象に、摂食・栄養指導を実施しています。

診療日：毎週 火曜日 (要予約) ※ 受診日は相談により変更可能です。

担当医師：久保 英範

院内デイサービス「デイなごみ」の紹介

当センターでは2019年から看護部が主体となり、入院患者を対象に、院内デイサービス「デイなごみ」を立ちあげて企画と運営をしています。感染症蔓延時は休止していましたが、今年度より再開しましたので毎月2回実施している院内デイサービス「デイなごみ」について紹介したいと思います。



入院生活は生活リズムや環境が変わるため、ストレスが生じやすくなります。また、夜間の不眠、情緒の不安定、認知機能の低下を招くことがあります。そこで「デイなごみ」では日常生活のリズムを取り戻し、入院生活の中であってもしっかりとした時間を穏やかに過ごせるように、昼間の時間を利用してレクリエーションを中心に行っています。参加者の選定は、当該病棟の認知症ケアのリンクナースが



行っていますが、「デイなごみ」に興味のある方や楽しみたい方にも気軽に参加していただいています。

多くの参加者が、レクリエーションに対して意欲的に取り組むだけでなく、他者と競う玉入れや輪投げ等の場面では悔しがったり喜んだり、また他参加者と触れ合い、和気あいあいとした雰囲気の中で、笑顔や笑い声が聞かれ感情の変化もみられます。担当している看護師は、参加者の生き生きとした表情から心地よい時間の共有ができ、入院生活では見られない一面を知るきっかけになっています。

今後も、入院されている方が安心して過ごせるような環境や時間作りを継続し、積極的な動きかけが快刺激となって気分転換が図れるように、「デイなごみ」を運営していきたいと思えます。



「デイなごみ」の場面です

